



2020年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月10日

上場会社名 株式会社SYSホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3988 URL http://www.syshd.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)鈴木 裕紀
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)後藤 大祐 (TEL)052-937-0209
 四半期報告書提出予定日 2020年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止。代表取締役会長兼社長による決算説明の動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第2四半期の連結業績(2019年8月1日~2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	2,934	22.7	201	136.9	204	129.4	138	152.1
2019年7月期第2四半期	2,391	27.9	85	24.2	88	29.3	55	48.0

(注) 包括利益 2020年7月期第2四半期 144百万円(178.9%) 2019年7月期第2四半期 51百万円(39.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	53.97	—
2019年7月期第2四半期	21.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第2四半期	3,096	1,941	62.7
2019年7月期	2,998	1,828	61.0

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 1,941百万円 2019年7月期 1,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年7月期	—	0.00	—	—	—
2020年7月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年7月期の連結業績予想(2019年8月1日~2020年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,850	14.0	263	21.7	264	16.1	176	14.6	68.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期2Q	2,572,000株	2019年7月期	2,572,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期2Q	—	2019年7月期	—
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期2Q	2,572,000株	2019年7月期2Q	2,572,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2020年3月11日（水）15時以降、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

（決算説明内容の入手方法）

2020年3月11日（水）15時以降、当社ウェブサイトにて動画配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善を下支えにし、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、製造業を中心に業況判断に慎重さがみられています。また、米中貿易摩擦や英国のEU離脱等に加え、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす影響に対する懸念等があり、日本経済の先行きは不透明感が増しております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2019年12月分 確報」の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比1.8%増と15か月連続の増加、「受注ソフトウェア」は、同4.0%増と16か月連続の増加となりました。

このような経済状況のなか当社グループは、積極的な採用を行うことで、収益基盤の拡大に努め、また、顧客からの信頼を獲得し、リスクが低く安定した収益が期待できるリピートオーダーの提案・受注や、新規連結子会社との営業連携や事業効率の向上に努めることで、収益構造の安定化を図りました。

それらの結果、積極的な採用により、技術者の稼働人数が前年同期よりも増加したことに加えて、前連結会計年度のM&Aによる新規連結子会社の増加や事業譲受等による受注の増加が売上高増加の要因となりました。

また、一部の高収益プロジェクトや、採用数が前年同期を下回ったことにより技術者の教育・待機工数が減少したこと、売上高の増加に対して販売費及び一般管理費等の間接費用の増加が少なかったことが、利益増加の要因となりました。

以上の要因により、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,934,831千円(前年同期比22.7%増)、営業利益201,910千円(前年同期比136.9%増)、経常利益204,074千円(前年同期比129.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益138,811千円(前年同期比152.1%増)となりました。

当社グループは、総合情報サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりませんがソリューション別の概況は、次のとおりであります。

グローバル製造業ソリューションにおいては、鉄鋼関連顧客からの受注が堅調に推移したことや前連結会計年度における事業譲受により、搬送機関連顧客からの受注が増加したこと等により、売上高は1,268,465千円(前年同期比16.6%増)となりました。

社会情報インフラ・ソリューションにおいては、不動産関連顧客からの受注の増加や、前連結会計年度におけるM&Aによる新規連結子会社の増加や事業譲受により金融関連顧客からの受注が増加したこと等により、売上高は1,522,723千円(前年同期比21.6%増)となりました。

モバイル・ソリューションにおいては、受託開発の増加等により、売上高は143,641千円(前年同期比176.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,588,021千円となり、前連結会計年度末に比べ51,886千円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が17,285千円減少したものの、受取手形及び売掛金が39,829千円、仕掛品が17,980千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は508,307千円となり、前連結会計年度末に比べ45,771千円増加いたしました。

これは、無形固定資産が35,425千円、投資その他の資産が12,915千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,015,411千円となり、前連結会計年度末に比べ10,891千円減少いたしました。

これは主に、買掛金が9,462千円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金15,000千円、未払金が12,022千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は139,262千円となり、前連結会計年度末に比べ5,101千円減少いたしました。

これは主に、役員退職慰労引当金が5,233千円増加したものの、社債が10,000千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,941,654千円となり、前連結会計年度末に比べ113,650千円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いを行った一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が107,947千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて20,020千円減少し、1,783,266千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により取得した資金は、105,560千円(前年同四半期は74,594千円の取得)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益204,074千円を計上したことのほか、資金の増加として、減価償却費12,011千円、法人税等の還付額15,042千円等があった一方、資金の減少として、売上債権の増加額43,339千円、法人税等の支払額56,226千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、68,677千円(前年同四半期は9,463千円の使用)となりました。

これは主に、資金の減少として、無形固定資産の取得による支出25,591千円、事業譲受による支出30,000千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、56,731千円(前年同四半期は65,871千円の使用)となりました。

これは主に、資金の減少として配当金の支払額30,760千円、長期借入金の返済による支出15,000千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年9月13日に公表しました2020年7月期通期の業績予想に変更はありません。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,805,552	1,788,266
受取手形及び売掛金	562,016	601,845
電子記録債権	5,970	9,434
仕掛品	62,679	80,659
その他	100,425	108,501
貸倒引当金	△509	△685
流動資産合計	2,536,134	2,588,021
固定資産		
有形固定資産	78,985	76,491
無形固定資産		
のれん	108,947	127,756
その他	80,173	96,791
無形固定資産合計	189,121	224,547
投資その他の資産		
投資その他の資産	195,570	208,486
貸倒引当金	△1,142	△1,217
投資その他の資産合計	194,428	207,268
固定資産合計	462,535	508,307
資産合計	2,998,670	3,096,328

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,454	101,917
短期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	15,000	—
未払金	387,659	375,637
未払法人税等	57,670	64,591
賞与引当金	38,317	39,881
その他	215,200	213,383
流動負債合計	1,026,303	1,015,411
固定負債		
社債	50,000	40,000
役員退職慰労引当金	65,408	70,641
その他	28,955	28,621
固定負債合計	144,363	139,262
負債合計	1,170,666	1,154,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	359,012	359,012
資本剰余金	311,929	311,929
利益剰余金	1,148,589	1,256,537
株主資本合計	1,819,531	1,927,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,638	16,884
為替換算調整勘定	△3,166	△2,709
その他の包括利益累計額合計	8,471	14,174
純資産合計	1,828,003	1,941,654
負債純資産合計	2,998,670	3,096,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
売上高	2,391,479	2,934,831
売上原価	1,911,028	2,264,047
売上総利益	480,451	670,784
販売費及び一般管理費	395,225	468,873
営業利益	85,225	201,910
営業外収益		
受取利息及び配当金	161	177
受取家賃	1,200	1,200
助成金収入	1,297	380
その他	2,368	2,498
営業外収益合計	5,028	4,256
営業外費用		
支払利息	964	741
為替差損	205	1,092
その他	131	258
営業外費用合計	1,301	2,092
経常利益	88,952	204,074
税金等調整前四半期純利益	88,952	204,074
法人税、住民税及び事業税	32,568	65,983
法人税等調整額	1,325	△720
法人税等合計	33,893	65,263
四半期純利益	55,058	138,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,058	138,811

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
四半期純利益	55,058	138,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,426	5,246
為替換算調整勘定	△813	456
その他の包括利益合計	△3,239	5,703
四半期包括利益	51,819	144,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,819	144,514

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	88,952	204,074
減価償却費	12,988	12,011
のれん償却額	6,395	11,191
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△114	252
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,081	1,554
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△4,418	2,379
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,636	6,170
受取利息及び受取配当金	△161	△177
支払利息	964	741
売上債権の増減額(△は増加)	9,266	△43,339
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,583	△17,724
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,499	9,457
未払金の増減額(△は減少)	18,906	△8,937
その他	13,719	△30,148
小計	109,134	147,505
利息及び配当金の受取額	161	177
利息の支払額	△964	△938
法人税等の支払額	△33,736	△56,226
法人税等の還付額	—	15,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,594	105,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,500	△5,100
定期預金の払戻による収入	50,000	270
有形固定資産の取得による支出	△35,230	△5,321
有形固定資産の売却による収入	—	2,450
無形固定資産の取得による支出	△18,612	△25,591
事業譲受による支出	—	△30,000
その他	△1,119	△5,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,463	△68,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△21,648	△15,000
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△33,287	△30,760
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△935	△971
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,871	△56,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	△785	△172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,524	△20,020
現金及び現金同等物の期首残高	1,722,953	1,803,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,721,428	1,783,266

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは総合情報サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。